

北海道立帯広美術館電力需給契約仕様書

北海道立帯広美術館電力需給契約については、契約書の定めによるほか、この仕様書に定めるところによる。

1 概要

- (1) 需給場所
北海道立帯広美術館
- (2) 業種及び用途
美術館

2 仕様

- (1) 供給電気方式等及び需給地点
 - ア 供給電気方式等
 - (イ) 供給電気方式 交流 3 相 3 線式
 - (ロ) 供給電圧 (標準電圧) 6,000V
 - (ハ) 計量電圧 (標準電圧) 6,000V
 - (ニ) 標準周波数 50Hz
 - (ホ) 受電方法 1 回線受電方式
 - (2) 需給地点
帯広美術館電気設備と電力供給者の供給設備接続点
 - (3) 工作物の財産分界点
(2)に同じ。ただし、計量地点に電力供給者が設置した計量装置等は、電力供給者の所有又は管理責任物とする。
 - (4) 保安上の責任分界点
(2)に同じ。
 - (5) 電力量等の計量地点
帯広美術館地下 1 階電気室
 - (6) 受電施設の総容量
450KVA (6.6KV)
 - (7) 予備発電設備
100KVA (200V)
- 3 予定契約電力等
 - (1) 予定契約電力及び年間予定使用電力量
別紙 2 のとおり
 - (2) 過去の最大需要電力、力率及び使用電力量の実績値
別紙 2 のとおり
 - (3) 力率
85パーセント以上で100パーセントを目処に運用している。

4 契約期間

令和6年（2024年）6月1日から令和7年（2025年）5月31日まで

5 その他

(1) 燃料調整費の調整

電力供給者は、平均燃料価格に変動が生じたときは、受給者に対し事前に協議するものとする。

(2) 再生可能エネルギー発電促進賦課金の調整

電気供給者は、再生可能エネルギー発電促進賦課金に変動が生じたときは、受給者に対し事前に協議するものとする。

(3) その他の要因による電気料金の調整及び仕様書に定めのない他の供給条件については、電気供給者と受給者と協議の上、定めるものとする。